

# 精神科認定看護師制度の将来ビジョン 10カ年計画 平成28年度報告（事業開始1年目）

平成29年7月22日

# 平成28年度における精神科認定看護師の養成に関する 数値目標および指標

## ●協会理念の実現に向けて

**今後10年間で、精神科病院の“約半数”に精神科認定看護師を  
配置することをめざす！**

**「各都道府県単位で、精神科認定看護師を配置する精神科病院を毎年1カ所増やす！」**

表 精神科病院における精神科認定看護師配置率の数値目標

評価指標		平成28年	第1期 5カ年計画		第2期 5カ年計画	
			→	平成33年	→	平成38年
A	①配置率	17.3%	→	32.6%	→	47.9%
	②配置施設数 (n=1,539)	267施設		502施設		737施設
	(目安) 精神科認定看護師数*	521名		979名		1,437名
B	①配置率	17.3%	→	29.6%	→	41.8%
	②配置施設数 (n=1,539)	267施設		455施設		643施設
	(目安) 精神科認定看護師数*	521名		887名		1,253名
C	①配置率	17.3%	→	25.0%	→	32.7%
	②配置施設数 (n=1,539)	267施設		385施設		503施設
	精神科認定看護師数*	521名		750名		980名

A = 達成率100% (235施設/5年間) B = 達成率80% (188施設/5年間) C = 達成率50% (118施設/5年間)

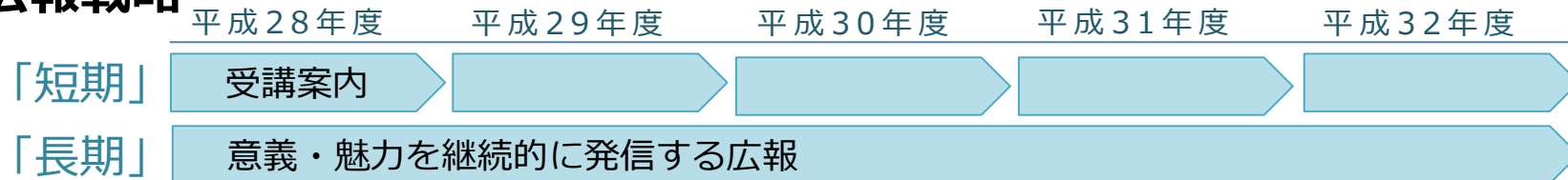
※精神科認定看護師数は、平成28年度の1施設あたりの平均人数1.95名を参考にした想定数(目安)である。

表は平成28年度第2回理事会資料 精神科認定看護師制度の将来ビジョン10カ年計画(案)より引用

# 第1期 5カ年計画の具体的取り組みについて

## (1) 精神科認定看護師の意義・魅力を高めるための重層的な取り組み

### ① 広報戦略



#### 「短期的広報」

〈主な目的〉

○受講資格審査や制度内容（カリキュラム等）を案内する

〈主な手段〉

○ナーシング・スターと協会HPにおいて周知する。（単年度）

#### 「長期的広報」 ※追加予算関連

〈主な目的〉

①精神科認定看護師の将来ビジョンを共有する

②精神科認定看護師の活動の意義と魅力を周知する

〈主な手段〉

①協会HP、ナーシング・スターにおいて、精神科認定看護師の将来ビジョンおよび精神科認定看護師の活動と魅力が伝わるような紹介を継続的に行う。

②学術集会等において、精神科認定看護師の活動報告を行う。

③各施設等で長期的に掲示できるポスターを作成し配付する。（2年更新）

④上記①～③を素材としたスライドショーを作成し、協会・支部の研修受講者を対象にPRを活用する。（2年更新）

## ②政策提言

- 現在、診療報酬の施設基準として評価されている内容を広報でPRする。
- 平成30年度診療報酬改定に向けて、入院医療と外来・在宅医療における精神科認定看護師の配置（活動の成果）の政策提言を行う。
- 精神科認定看護師の看護活動と成果の集積・分析を行う方法を、平成28年度内に検討する。

## ③制度充実

- eラーニング導入の可能性と効果について、平成28年度内に検討する。
- 在宅ケアにおける特定行為の有用性等について、平成28年度内に検討する。
- 認定志願者や精神科認定看護師の増加に伴う事務作業への対応を検討する。  
(平成28年度)
- 認定志願者増に伴う実習施設の確保。（随時）
- 受験者増に伴う認定試験の試験官の確保。（随時）

## (2) 都道府県支部と重層的な取り組み

- 全国支部長会議と全国事務局長会議（平成28年度より）を通じて、精神科認定看護師の将来ビジョンの共有を図る。
- 都道府県支部の施設代表者会議や看護部長会等を通じて、会員施設等の看護管理者に精神科認定看護師の将来ビジョンの共有を図る。
- 都道府県支部の施設代表者会議や看護部長会等を通じて、精神科認定看護師が配置されていない精神科病院に対し、出願の働きかけを行う。

# 平成28年度の事業内容

## (1)精神科認定看護師の意義・魅力を高めるための重層的な取り組み

### ①広報戦略

- ・精神科認定看護師をPRするポスター、スライドショーを制作。
- ・ホームページにおいて精神科認定看護師の活動紹介の充実。
- ・ナーシング・スターで精神科認定看護師の活用を特集（8月号）
- ・精神科看護において精神科認定看護師に関する連載を掲載。

### ②政策提言

- ・診療報酬の施設基準として評価されていることをPR。
- ・精神科認定看護師の活動状況を把握するためのアンケートを実施。
- ・在宅ケアにおける特定行為の有用性を検討するためのアンケートを実施。

### ③制度充実

- ・事務局内でe-ラーニングの導入を検討。

主な内容：受講生100名以上で5年間同じ映像を使えば、採算上は問題ない。

# 平成28年度の事業内容

## (2) 都道府県支部と重層的な取り組み

- 全国支部長会議と全国事務局長会議を通じて、精神科認定看護師の将来ビジョンの共有を図った。
- 支部研修会等において受講資格審査の出願についてアナウンスをすることを呼びかけた。

# 事業開始1年目における数値目標の達成状況(概算)

評価指標		第1期 5カ年計画		第2期 5カ年計画	
		平成28年	平成33年	平成38年	平成38年
A 毎年 90名増加	①配置率	17.3%	32.6%	47.9%	
	②配置施設数 (n=1,539)	267施設	502施設	737施設	
	(目安) 精神科認定看護師数*	521名	979名	1,437名	
B 毎年 70名増加	①配置率	17.3%	29.6%	41.8%	
	②配置施設数 (n=1,539)	267施設	455施設	643施設	
	(目安) 精神科認定看護師数*	521名	887名	1,253名	
C 毎年 45名増加	①配置率	17.3%	25.0%	32.7%	
	②配置施設数 (n=1,539)	267施設	385施設	503施設	
	精神科認定看護師数*	521名	750名	980名	

- ・ 10年間で、精神科病院の“約半数”に精神科認定看護師を配置するためには、毎年90名以上の認定試験合格者が必要。(A欄)
- ・ 現時点での認定試験合格者数から推察すると、平成38年の精神科認定看護師数は1000名程度と考えられる。

	平成29年度	平成30年度見込み
認定試験合格者	55名	約70名

# 今後の課題①

## ●制度充実にむけた養成体制に関する課題

- 認定試験の合格率を70%とする場合、受験者数130名以上で合格者90名以上となる。
- 受験者数130名以上を確保する場合、現時点における研修会場の定員数を上回ってしまう。
- また、現状では実習施設の確保が難しく、実習生が100名以上になると、実習ができない可能性がある。
- 特に入院医療看護コースの実習Ⅱの実習施設が不足している。
- 平成28年度はe-ラーニングの導入に関して、十分な検討ができなかった。

## ●政策提言の関する課題

- 在宅ケアにおける特定行為の有用性に関して、アンケートを実施したが、その結果をふまえた十分な検討ができなかった。



# 今後の課題②

- 都道府県支部との重層的な取り組み
- 都道府県支部の施設代表者会議や看護部長会等を通じて、会員施設等の看護管理者に精神科認定看護師の将来ビジョンの共有を図ることや精神科認定看護師が配置されていない精神科病院に対し、出願の働きかけを行うことについて、十分にできなかった。

# 平成29年度の取り組み

## (1) 精神科認定看護師の意義・魅力を高めるための重層的な取り組み

### ① 広報戦略

- 精神科認定看護師をPRするポスターを制作（2018年4月完成）
- 受講資格審査出願要項等の周知
- 学術集会において精神科認定看護師の活動や活用方法等をPRする。
- 一般病院の看護管理者を対象に精神科認定看護師制度の普及を図る。

### ② 政策提言

- 活動状況の把握をとおして政策提言につなげる。
- 在宅ケアにおける特定行為の有用性などについて、検討をする。

### ③ 制度充実

- 支部に実習施設の確保について協力を依頼する。
- 数値目標を達成にむけて、受講資格審査の出願者数が増えるような環境づくりや養成体制の強化（e-ラーニングの導入の可能性、運営体制の見直しなど）を検討する。

## (2) 都道府県支部と重層的な取り組み

- 全国事務局長会議を通じて、精神科認定看護師の将来ビジョンの共有を図る。
- 都道府県支部の施設代表者会議や看護部長会等を通じて、会員施設等の看護管理者に精神科認定看護師の将来ビジョンの共有を図り、精神科認定看護師が配置されていない精神科病院に対し、出願の働きかけを行う。